

# オリーブで地域おこし

一般社団法人・大牟田市上内校区まちづくり協議会(境真士夫代表理事)は国(総務省)の過疎集落等自立再生対策事業で1千万円の交付金を受けオリーブ栽培に取り組んでいる。



## 初収穫し製品化

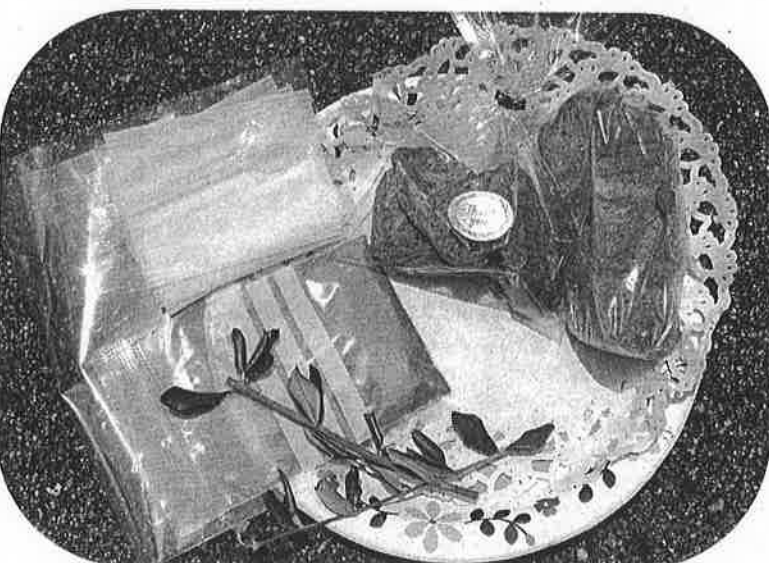
自立再生交付金受け

### 茶やケーキを試飲・試食

上内校区まち協

初めて収穫した葉を使い、オリーブ茶やオリーブシフォンケーキ、オリーブクッキーを製品化。26日に地元で試飲会・試食会をした。近く、道の駅「おおむた」花がらす館で販売し、地域活性化に役立てるとい

う。同校区まち協は組織内に同名の一般社団法人を設立し、平成26年度の交付金を基に地域おこしへ着手。昨年3月に校区内の四ヶ、岩本、東、西の4地区で1カ所ずつ計4



オリーブ葉で作った茶(粉末)やお菓子

試飲会・試食会は大牟田市若本新町の特別養護老人ホーム天光園「かみうち」で開き、オリーブ栽培の従事者や市社会福祉協議会、市民協働部職員、栽培開始時の小学校校長などの支援者ら20人が参加した。

境代表理事は「やっと試飲会・試食会を開催することができた。8月には次の収穫ができるので、さらにいろいろな商品を作り、販売して、地域や道の駅を活気づけたい」と意欲的。

オリーブの葉が入ったスパイスやキャンディに粉末にしてもいい、それを包装したオリーブ茶を製品化。同粉末を使い、地元住民がシフォンケーキやクッキーも完成させた。

(菅嶋 公尚)

長岡選手のオリンピック出場を祝う懸垂幕(みやま市役所)

2016リオデジャネイロオリンピック出場

全日本女子バレーボールチーム  
ウイングスハイカー

長岡望悠さん

(山川中学校出身)  
みやま市・みやま市教育委員会

筑後市

展覧会に参加した3人

## のコラボ 展始まる



カ所にオリーブの苗860本を植え、今年3月に初めて収穫した。栽培のノウハウは㈱オリブアカデミー(久留米市野中町、古賀直樹代表取締役)に学び、約2

材にはイ草、コケ玉なども使用。野田さんはお茶から「和」をイメージし、竹や和紙を使って「わびさび」を表現した。

林さんは昨年に続いての参加で、20日から7月2日まで会場でワークショップを行う。先端にレンズを付けた万華鏡(テレイドスコップ)を製作し、これでフラワーアレンジメント作品